

地域に生きる学校づくり

日立市立坂本中学校長

本校の学びの伝統として受け継がれている「さかもと魂」という言葉には、「さわやかさ・かん謝の心・もく標をもつ・と中であきらめない」という意味が込められています。本校の生徒の気質や特徴は、これらのことが自然と実践できるところにあります。そして、その実践の基盤となるのは、やはり地域であります。

地域に生きる学校づくりは、生徒の主体的な活動あってこそ実現できるものです。やがて大人になって地域の将来を担う生徒に、地域との交流の心地よさや感謝する気持ちを行動で表す経験を積ませることはとても意義深いことです。このような理念から、本校では楽しみながら坂下地区、日立市、並びに茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、以下のような独自の教育課程を実施しています。

- ① **地域高齢者に向けた手紙作成**(バレーボール部：令和5年度からは生徒会活動の中で引き継ぐ予定)
- ② **敬老会での演奏実施**(吹奏楽部：坂下地区文化・芸術発表会、ふるさと坂下元気まつり)
- ③ **ひたち郷土かるた大会出場参加**(第1学年生徒、教職員)
- ④ **いばらきっ子郷土検定参加**(第2学年生徒：日立市大会連続10回優勝)

これらにより、未来を担う子供たちが郷土に誇りを持ち、自ら探究する力を身につけ健やかに育てることを目指しています。今後とも、学びの伝統「さかもと魂」と地域に生きる学校づくりに向けた教育活動の実現のため、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和5年1月31日